

陽光地区 緑4丁目自治会

『福祉部』による高齢化対策と、顔の見える関係の構築」

●加入世帯数：266世帯

●加入率：85.8%

活動内容

緑4丁目自治会は、国体開催の会場となるスポーツゾーン内の県陸上競技場北側に位置し、住宅地の中でも一戸建てが多く、東武西川田駅や関東バス江曾島線や今宮線などがあり、交通の便利さや教育環境の向上などにより、住みやすい環境となっています。

緑4丁目自治会は、緑5丁目約40世帯と隣接地域に近いことから、緑4丁目の西側に当たる西川田町の10世帯と一緒に活動をしています。陽光連合自治会では南西にあたり、緑5丁目内には陽光小学校、陽光コミュニティセンターがあり、地域の中でも大いに活用されています。

自治会加入は、一戸建てでは加入率はかなり高く、移動の多いと思われるアパートの人たちの、自治会加入がこれからの課題であると考えています。今まで、ふるさと陽光まつり、陽光体育祭、陽光冬まつりなどには、アパートの人にも呼びかけて行事に参加してもらい、交流を深めてきました。最近では、アパートに住む方より自治会に加入したいと話がありました。

地域行事についても、住んでる方が、楽しいで行事に参加できるように、わかりやすいお知らせの回覧、班長の負

担の軽減、声かけを行うなど自治会内の交流を促進してきました。これからも、地域の人顔が見える、お互いに知り合い、住みやすい地域を目指していきたいと考えています。

○ 福祉部の活躍

緑4丁目自治会の特徴として、専門部に福祉部があり、民生委員、福祉協力員など12名が、緑ヶ丘・陽光地域包括支援センターの協力を得て、住み慣れた地域で安心した生活を送れる活動をしています。少子高齢社会のなか、当自治会も75才以上の高齢者が、140名を超えています。半数の人がご夫妻であり、仲良く住んでいる事が見受けられます。また、一人暮らしの高齢者も増えています。それらの方から、遠方の子どもや親戚より身近な近所つきあいを求める声があり、地域での、郵便物がたまっている、電気のつけっぱなし、植木が枯れているなど“異変への気づき”も見守り活動が必要と思われれます。

福祉部では、定期的に見守り会議を開催し、認知症や異変への対応を学び、情報の共有を図って、助けが必要な人に対応できるようにしています。

○ 緑南長寿会・老人会活動

61才から入れる緑南長寿会の活動は、毎週1回陽光コミュニティセンターの会場で行っています。活動内容は小物づくり、茶話会、歌の会、ゲートボール、食事会、年1回の旅行などを通し親睦を深めています。企画を考える役員の方にはご苦労があると思います。特に食事会は好評で、楽しみにしている会員が多くいます。女性会員が多いので、もっと男性や夫婦で参加されるといいなと思っています。皆さん仲が良く、ふるさと陽光まつりの盆踊りには、会員の多くが参加して盛りあげてくれています。

○ 防犯活動

以前近所で空き巣の被害があったりしたことがありました。犯罪を未然に防ぐためには、街全体で防犯活動に取り組むことが大切と考えています。当自治会では、防犯部と婦人防火部が中心となり、宇都宮南警察緑交番の協力を得て、年4回（6月、9月、12月、3月）、役員と班長が2班に分かれて、防火・防犯パトロールを行っています。さらに、街を明るく照らす防犯灯のLED化を進め、通りから見えにくく、隠れやすい木の繁茂している箇所での点検等を行っています。この活動も14年目に入り、昨年は栃木県警察本部、社団法人栃木県防犯協会から貢献表彰を受けることができました。